

第89回「ふじのくに防災学講座」

160716 版

「静岡大学防災総合センター・2016年熊本地震調査報告」

静岡県では、「しずおか防災コンソーシアム」と連携し、「ふじのくに防災学講座」を下記のとおり開催しますので、県民の皆様の多数の御参加をお待ちしています。

- 日 時 平成28年7月16日(土) 10時30分～12時00分
- 会 場 静岡県地震防災センター (静岡市葵区駒形通5丁目9-1)
※ 会場の駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください
- 対 象 どなたでも受講できますが、事前に電話等でお申し込みください
電話 054-251-7100 FAX 054-251-7300 メールアドレス eq-center@amethyst.broba.cc
- 受講料・定員 無 料・180名(先着順)

<講演1>

講 師 かきはら じゅんぞう 笠原 順三 氏 静岡大学防災総合センター 客員教授(東大名誉教授)
講演題目 熊本地震活動の特徴と地学的背景と周辺の地震活動
概 要 4月14日熊本周辺に発生した地震活動は今までとは異なった地震活動域の様子を示したといわれる。この地震活動推移を理解するためには地溝構造とその中の断層系と九州に作用している南北伸長の力を考える必要がある。このような場所では異常な地震活動の推移ではなく前震・本震・余震活動だけで活動の予測するのは危険である。断層運動と地震振動に関しては、断層の両側が動く場合と片側だけが動く場合では地震波の出方が異なっている。また地表の「活断層」と実際に活動する地震断層は異なり活断層だけに頼る説明は予測を誤る心配がある。

<講演2>

講 師 つちや さとし 土屋 智 氏 静岡大学農学部 教授(静岡大学防災総合センター兼務)
講演題目 熊本地震により火山山麓地帯で発生した土砂移動現象
概 要 熊本地震(M7.3, 16年4月14日)により阿蘇山麓の山地一帯で数多くの斜面崩壊が生じた。南阿蘇村では阿蘇大橋の崩落を招いた大規模崩壊があり、河陽高野台では流動化した崩落土砂に巻き込まれ5人が亡くなった。熊本地震で起きた土砂移動現象は、過去に火山地帯で発生した土砂移動とは大きくは異なるが、特徴の一つは長距離を流動したことだ。また同じ火山地帯である伊豆半島では、伊豆大島近海地震(M7.0, 1978年)により河津町見高入谷で7名の犠牲を伴う崩壊があった。このような火山地帯で地震時に発生する斜面崩壊について特徴を紹介したい。

<講演3>

講 師 いのくち むねなり 井ノ口 宗成 氏 静岡大学情報学部 講師(静岡大学防災総合センター兼務)
講演題目 熊本地震における被災者生活再建支援の実態と課題
概 要 熊本地震の被災市町村では、り災証明の発行が進み、生活再建支援の一步を踏み出した。各市町村では、平成25年の災害対策基本法の改正を踏まえ、効果的な被災者生活再建支援の実現を目指し、被災者台帳の構築と活用を進めている。熊本県が音頭をとり、被災者台帳を共通の仕組みとして整備することが、本災害の特徴である。本報告では、被災地の活動実態に加え、熊本地震の被災地が今後取り組むべき課題を提起する。

第89回「ふじのくに防災学講座」参加申込書 平成28年7月16日(土) 10時30分開催

電話 054-251-7100 FAX054-251-7300 電話又はFAXで申し込みください

お名前	お住まいの市町名、又は勤務先	人数	連絡先(TEL) ※必ず記入